

【協議事項（１）】

（１）タクシー利用に係る地域公共交通助成実証実験について

１．主旨

スワン号の運行終了による影響が大きいと見込まれる、本埜地区に在住する、高齢者を対象に、令和５年１１月１日から令和７年３月３１日を実施期間として実施しているところでございます。

当該実証実験について、本年度末（令和７年３月３１日）に終了することから、実証実験の結果報告とともに、今後の本埜地区を含めた交通不便地域への対応（案）を策定いたしましたので、本会議においてご審査いただくものです。

２．配布資料

協議資料１ 印西市タクシー利用に係る地域公共交通助成実証実験について

印西市タクシー利用に係る地域公共交通助成実証実験について

1. 実証実験の概要

◎目 的

乗合タクシー（スワン号）の運行終了による影響が大きいと見込まれる旧本埜第二小学校周辺地域に在住する高齢者を対象として、買物その他日常生活で必要とされる移動手段の確保を目的とした、印西市タクシー利用に係る地域公共交通助成の実証実験（以下「タクシー利用券という」。）を開始しました。

◎実施期間…令和５年１月１日～令和７年３月３１日

◎対象者…次の①②を満たす人（対象地区の人口１，３７２人）

①本埜地区で、直線距離で最寄りの駅から１km以上、及びバス停から３００m以上離れている場所に住んでいる人

②利用券申請時に７０歳以上、または運転免許を持っていない６５歳以上の人

※本埜地区（２５地区）

中根、荒野、角田、竜腹寺、滝、笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林、物木

◎助成金額…利用１回につき８００円（超えた差額は、自己負担）※１か月当たり８枚を交付

◎利用時の条件…乗降場所のいずれかが本埜地区であること

※申請率、利用率等は５ページ「資料１」を参照

2 実証実験の結果

これまでの利用者は、対象地区の人口１，３７２人中、２４人が利用しており、当初見込み人数より下回る結果となっています。

また、本埜地区にお住まいの方で当該助成制度を利用している方及び利用していない方を対象とした、アンケート調査結果では、主に病院や買い物への利用が多いこと、今後における市の交通対策として、注力すべき取り組みの中でタクシー利用券の充実を希望する方が多いことから、利用者は少数ではあるものの、スワン号終了後の地域の生活を支える公共交通施策として、一定の効果が得られているものと捉えています。

（利用状況）

- ・当該事業はドアツードア型の移動支援のため、他の公共交通手段より利用者の身体的負担は軽減されているとともに、日常でのタクシー利用と同様な利用方法のため、事前予約が不要であること、また、利用時間等の制限もないことから、利用者の生活に併せた利用が可能であるものと捉えています。
- ・利用実態としては、多くが通院、買い物への利用であり、通院、買い物以外にも飲食への利用も確認できたことから、外出機会の創出にも寄与できたものと捉えています。

- ・対象地区の人口に対し、利用者が少なかった主な要因として、車、バイクによる移動手段があること、家族・知人の車での送迎などで対応できていることに加え、対象条件である、バス停からの距離により利用できないことや自己負担額が生じることによるものと捉えています。
- ・令和５年度では、タクシー利用券の配布枚数３９２枚のうち、実際に利用されたタクシー利用券は１１１枚で、利用率は２８．３％となっています。
- ・一乗車あたりの助成額は８００円で、利用平均運賃は平均約２，４００円を要しており、運賃の２／３が利用者負担となっています。

３ 本埜地区の対応

実証実験の結果を受けて、ドアツードア型の移動支援を継続するとともに、対象条件について、利用者の利便性の視点から、当該助成制度を改善していくことで、交通不便地域における高齢者の買物、通院、その他日常生活での移動について、より効果が高まっていくものと考えます。

なお、当該助成制度は、タクシー利用券の利用回数に応じて、市の財政負担が生ずるもので、当該制度を維持する設備費等は不用であることから、ふれあいバス等、他の交通対策と比較し、効率的な財政負担であるものと捉えています。

【令和７年度の対応案】

対象条件	理由
①駅、バス停からの距離条件を廃止し市街化調整区域内に住んでいる方	・距離条件については、利用希望者の自宅付近にバス停があったものの、自分の移動目的に合わないバス路線である場合もあり、交通不便地域への移動手段確保の視点から、左記の条件としました。
②乗降場所をいずれかが自宅居住地区内であること	
③７０歳以上または運転免許証を持っていない６５歳以上の方	・アンケート結果では車、バイク、家族など、何らかの移動手段を有していることから、特に高齢者の移動手段を図るため、左記の条件としました。
④利用１回につき上限８００円を助成（自己負担あり）	・※他自治体の実施状況、また、利用者アンケート調査結果からも妥当であるとのことから、助成額を現行のとおりとしました。 ※和光市５００円/枚　１２枚/年 稲敷市７００円/枚　８回/月 九十九里町５００円/枚　４枚/月 匝瑳市５００円/枚　３枚/月
⑤１か月あたり８枚を交付	

交通不便地域の対応について

1 交通不便地域対応指針

◆公共交通不便地域対応指針（抜粋）◆

令和 7 年度のふれあいバスの再編に合わせた、公共交通不便地域への対応方針として、公共交通不便地域対応指針に定めており、以下の視点により対応していきます。

（1）ふれあいバスのルート再編

①ルートの見直し

利用状況、運行ルートの安全性（運行車両、道路幅員、道路勾配など）、既存公共交通機関への影響などを踏まえ、運行ルート及びバス停留所の変更を行います。

②ルートの新設

運行ルートの安全性（運行車両、道路幅員、道路勾配など）、既存公共交通機関への影響などを踏まえ、運行ルートを新設する場合には、運行計画（ルート、ダイヤ、バス停）を定め、実証運行を行うものとします。

（2）ふれあいバス以外の交通サービスの導入

上記（1）における検討を行った結果、ふれあいバスでの対応が困難な地域には、以下について検討し、地域公共交通会議で協議をしていくものとします。

①タクシー利用助成事業の導入

②デマンド交通等の導入

1. 交通不便地域の対応(タクシー利用券)

		現行（令和6年度）	案1	案2	案3
対応概要		タクシー利用券の配布			
		・本埜地区限定 （直線距離で最寄りの駅から1km以上、及びバス停から300m以上離れている場所に住んでいる人）	・市街化調整区域に限定 （駅、バス停からの距離条件の廃止）		・市内全域 （福祉タクシーとの統合可）
		・利用1回につき800円 （超えた差額は、自己負担）	同左	同左	同左
		・1か月当たり8枚を交付	同左	同左	同左
		乗降場所のいずれかが本埜地区であること	乗降場所のいずれかが自宅居住地区内であること		乗降場所のいずれかが市内であること
対象地区	交通不便地域 ※	○本埜地区（25地区）	○市内全域（34地区）	○市内全域（34地区）	○市内全域（34地区）
	市街化調整区域	-	-	○	○
	市街化区域	-	-	-	○
対象年齢	70歳以上	○	○	○	○
	65歳以上 （免許証不所持）	○	○	○	-
対象地区の人口		1,372人	約3,000人	約9,000人	約20,000人
利用見込人数		60人	120人	324人	720人
事業費	利用率100%	4,608,000円	9,216,000円	24,883,200円	55,296,000円
	利用率80%	3,686,400円	7,372,800円	19,906,560円	44,236,800円
	利用率50%	2,304,000円	4,608,000円	12,441,600円	27,648,000円
	利用率30%	1,382,400円	2,764,800円	7,464,960円	16,588,800円
	※事業費に事業者協力金が別途加算（1回あたり200円）				

※交通不便地域は6ページ「資料2」参照

資料 1

(1) 申請状況（本埜地区） ※対象地区の人口 1, 3 7 2 人

	申請者数	申請率	対象者数
令和 5 年度	1 3 人	0. 9 %	1 0 人
令和 6 年度	1 4 人	1. 0 %	1 4 人
合 計	2 7 人	2. 0 %	2 4 人

※令和 6 年度は 4 月～ 7 月までの集計

(2) タクシー利用券利用状況

	対象者数	配布枚数	利用枚数	利用率
令和 5 年度	1 0 人	3 9 2 枚	1 1 1 枚	2 8. 3 %
令和 6 年度	1 4 人	1, 3 0 4 枚	9 5 枚	7. 2 %
合 計	2 4 人	1, 6 9 6 枚	2 0 6 枚	1 2. 1 %

※令和 6 年度は 4 月～ 7 月までの集計

(3) 各種交通サービスの利用状況（令和 5 年度）

	運行種別	路線名	運行経費 決算見込額 (市負担分)	延べ利用者	1 人当 たりの市負 担額
1	ふれあいバス	東、中、西、南、布佐、印 旛・本埜支所	112, 931, 784 円	276, 498 人	408 円
2	路線バス (小計 5, 159 万 円)	小林線 (小林駅～印西牧の原駅 ～印旛明誠高校)	4, 116, 015 円	136, 310 人	※ 1
3		印旛学園線 (京成酒々井駅～順天堂 大学～日医大病院～印旛 日本医大駅)	13, 066, 846 円	42, 021 人	311 円
4		六合路線 京成佐倉駅～印旛日本医 大駅～小林駅)	5, 762, 989 円	17, 328 人	333 円
5		宗像路線 (印西牧の原駅～京成臼 井駅)	28, 651, 285 円	21, 247 人	1, 348 円
6	スワン号 ※R5. 4～10	旧本埜第二小学校区	8, 478, 903 円	248 人	34, 189 円

※ 1 一部の便に対する補助のため未算定

資料 2

交通不便地域の対応（4 ページ案 1）

地区別人口 単位：人（R5. 4. 1 データいんざい参照）

No.	地区名	人口 65 歳以上①	利用見込 人数 ※ 1	No.	地区名	人口 65 歳以上①	利用見込 人数 ※ 1
<u>1</u>	<u>和泉</u>	1 0 6 人	3 人	19	下曾根	2 1 人	1 人
<u>2</u>	<u>戸神</u>	6 6 人	2 人	20	中	2 5 人	1 人
<u>3</u>	<u>結縁寺</u>	5 9 人	2 人	21	萩埜	1 9 人	1 人
<u>4</u>	<u>瀬戸</u>	3 0 2 人	9 人	22	桜野	3 人	1 人
<u>5</u>	<u>山田</u>	2 5 0 人	8 人	23	押付	1 6 人	1 人
<u>6</u>	<u>平賀</u>	2 8 5 人	9 人	24	佐野屋	1 5 人	1 人
<u>7</u>	<u>吉高</u>	3 0 4 人	9 人	25	和泉屋	1 5 人	1 人
<u>8</u>	<u>萩原</u>	1 6 2 人	5 人	26	甚兵衛	2 人	1 人
<u>9</u>	<u>吉田</u>	1 6 5 人	5 人	27	松木	2 1 人	1 人
10	中根	1 8 1 人	5 人	28	中田切	1 0 人	1 人
11	荒野	7 7 人	2 人	29	下井	7 1 人	2 人
12	角田	3 1 人	1 人	30	長門屋	1 9 人	1 人
13	竜腹寺	1 4 7 人	4 人	31	酒直ト杭	5 3 人	2 人
14	滝	1 0 2 人	3 人	32	安食ト杭	1 1 9 人	4 人
15	物木	3 1 人	1 人	33	将監	6 1 人	2 人
16	笠神	2 5 0 人	8 人	34	本埜小林	4 8 人	1 人
17	行徳	3 5 人	1 人	基礎人数		3, 0 7 1 人	9 8 人①
18	川向	0 人	0 人	利用見込人数		-	1 2 0 人②

※ 1 先進自治体（稲敷市）の利用率実績数値（3 %）を参考とした。

※②は①に 2 0 % の増加を見込み算出

※下線…交通不便地域 太字…地区の一部に市街化区域あり

※太枠…本埜地区 2 5 地区（地区人口 1, 3 7 2 人）